

公共事業再評価調書（再々評価）

所管課： 道路街路課

1 事業概要 (整備目的)	事業名：主要地方道浦添西原線(港川～城間)道路改築事業		前再評価年度：平成28年度		
	事業種別：主要地方道改築事業	事業主体：沖縄県		(H19～R2)	
	事業箇所：浦添市	根拠法令：道路法		事業期間：H19～R9	
	総事業費(百万円)：(5,591) 9,260	費用内訳：国費 9/10		事業量：L=1.55km・W=30.0m	
浦添西原線は、沖縄本島西海岸の浦添市港川を起点とし、東海岸の西原町小那覇を終点とする約12.8kmの主要地方道であり、ハシゴ道路ネットワークの縦軸幹線道路である国道58号、沖縄自動車道、国道329号、国道330号を相互に連絡し、交通需要の分散を担う重要な横軸幹線道路である。 このうち、当該計画区間は、沖縄西海岸道路、臨港道路の結節点である港川ICと国道58号とのアクセス道路として位置づけられ、延長L=1.55km、幅員30mの4車線で事業を実施するものである。					
1-2 前再評価以降の計画変更	事業期間及び事業費の変更を行った。				
2 再評価該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 再評価後一定期間（5年）を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input type="checkbox"/> ③ その他（ ）				
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input checked="" type="checkbox"/> ⑨ その他（関係機関調整） ・米軍基地一部用地の返還の遅れが生じたため。				
4 事業の進捗状況 (R3.3月時点)	項目	事業費(百万円)	整備済み(km)	用地取得(千㎡)	用地取得(筆数)
	計画	9,260	1.55	57.8	270
	実施済率	88%	49%	97%	96%
4-2 前再評価以降の主な進捗	平成30年3月に暫定2車で供用開始した。また、港川IC～GATE4前交差点及び城間交差点付近については4車線での整備が完了している。				
5 事業効果の評価指標 (検討年50年) (基準年R3) (単位：百万円)	① 走行時間短縮 ② 走行経費低減 ③ 交通事故減少 総便益 基準年換算(B)	42,901 4,909 1,550 49,360 17,516	① 事業費 ② 維持管理費 総費用 基準年換算(C)	8,648 200 8,848 11,098	費用便益比(B/C) = 17,516 / 11,098 = 1.6
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済： <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年2月に浦添西海岸道路が開通している。 ・平成30年3月には、港川IC～国道58号間において暫定2車線で供用し、国道58号の渋滞緩和に寄与している。 ・令和元年6月に那覇港浦添ふ頭地区に大型商業施設がオープンしており、新たな観光需要・雇用の創出が進んでいる。 ・令和3年度に国道58号浦添拡幅(8車線)の暫定供用が予定されている。 ・浦添北道路Ⅱ期線が令和元年から事業化されている。 ② 地元・自治体： 令和元年に浦添市商工会から早期整備の要望有り ③ 利害関係者： <ul style="list-style-type: none"> ・土地収用法を活用し民地の取得は完了している。 ・平成29年度に米軍基地一部用地の共同使用に日米で合意している。 				
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 本事業は、浦添市街地と沖縄西海岸道路間のアクセス機能を高めるとともに、ハシゴ道路ネットワークの横軸を担う路線として、東西間の脆弱な幹線道路ネットワークを強化し、地域産業の活性化に寄与するものである。 また、沖縄西海岸道路、臨港道路の結節点である港川ICと国道58号とのアクセス道路として位置づけられ、もって那覇港浦添ふ頭地区の物流機能の強化および国道58号の渋滞緩和を目的としている。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性やコスト削減)： 用地の97%が取得済となっていることから、現計画を継続して推進することが効率的である。 ③ 事業効果の発現状況： 暫定2車線で供用し、交差点部等の一部区間については4車線整備が完了したことにより、国道58号の渋滞緩和に寄与している。				
8 今後の対応・見通し	① 事業計画等： 港川道路にかかる米軍基地一部用地の返還について調整を進め、予定の事業期間での完了を目指す。 ② 対住民関係： 特になし ③ 執行体制等： 現在の体制で取り組む。				
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止				
10 その他 (前再評価での主な意見等)	・植栽等を工夫し、沖縄らしい景観の道路にすること。 ・歩行者と自転車を分離する方法を検討すること。				